

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 27日

事業所名 放課後等デイサービス にじ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動の場面に合わせて空間を配置している	引き続きより良い支援が行えるよう環境面の工夫を行う
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		基準以上の配置をしている	今後も適切な職員の配置を行う
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		段差、階段には滑り止めマットや手すりを設置し事故防止に努めている	事故が起こらないよう児童に応じて対応していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		定期的に会議を開催している	今後も継続して行う
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者からの意見をお聞きして業務の改善につなげている	おたより等でお伝えしていくようにする
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページに公開している	ホームページをリニューアルしてもっと周知していく
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	今現在、交流や情報交換は行っていない	今後、他事業所との連絡、交流が行えるように他事業所とコミュニケーションをとっていく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		内外ともに研修の機会を設けている	研修内容の周知をさらに行えるように改善していく
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		定期的にアセスメントを行い、個別支援計画に反映している	具体的な課題を分析して個別支援計画に反映していく
	10 子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		子どもの特性や家族構成などを細かく聞き出している	今後も定期的に行い職員に周知し支援にあたる
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		事前に活動プログラムを子どもと保護者に予告している	より多くの種類のプログラムを立案し活動の幅を広げていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		イベント等毎月変え季節に合わせた催しを行っている	新たな活動プログラムを検討・実地していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		平日は自主性を高めるための支援を設定し、休日はクッキングや外出など平日に行えない課題を設定している	今後も継続して行う
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		集団と個別の課題を支援計画に取り入れ、適宜対応している	職員同士での周知を深める
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		職員間で漏れがないように確認を行っている	今後も継続して行う
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		共有ノートやSNSを活用し情報の共有を行っている	職員のスキルアップを求める情報の共有をさらに深める
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		一人ひとり個人ノートを作って支援ごとに記録している	今後も継続して行う
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		6ヶ月ごとにモニタリングを実地して判断している	保護者との懇談を行いより良い支援が行えるよう計画に反映していく
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った支援を行っている	新しい職員にはガイドラインをしっかり読んでもらう

	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		原則児発管が出席し情報を事業所へ持ち帰る	情報収集を徹底し得た情報を職員にしっかり周知する
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		保護者との連絡をはかり確認をしている駐車時は各学校のルールに従い送迎を行っている	今後も継続して行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		基本は保護者との連絡に止めている	必要に応じて連絡体制を図れるよう整備していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		全員ではないが情報共有を働きかけている	今後も積極的に情報共有を働きかけていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>	現在に至るまで該当の児童はない	今後利用者の卒業の際は積極的に情報の提供が図れるよう体制を作っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		未来センターなどでの研修に行っている	今後も積極的に研修に参加して助言などを受けれるようにしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		高校生のボランティアさんと交流を行っている	地域行事に参加するなど検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	人員配置不足になるため参加していない	今後余裕があれば参加していきたいです
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時等や連絡帳などで共通理解に努めている	今後も継続して行う
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		必要に応じて電話や面談などで相談に乗っている	今後も継続して行う
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明を行っている	今後も継続して行う
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		送迎時や電話で今は行っている	今後も継続して行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>	現在保護者会は行っていない	保護者会等を企画し連携できる場の提供を検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情があった場合は職員から正確な情報を聞き出し迅速に適切な対応に努めしていく	苦情窓口の存在を周知していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		活動の様子を写真に収め定期的に配布している	おたよりなどを作成し情報共有を図っていく
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		個人ファイルは鍵付き書庫で厳重に保管している	今後も継続して行う
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		子どもからの小さなサインを見逃さないように努めつつ保護者との連携も大切にする	今後も継続して行う
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		イベントなどは行われていないが地域の自治会に入っている	イベントなどの開催があれば町内掲示板を定期的に見るなどして積極的に参加していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	職員には避難場所を周知する研修を行っている	新しい職員や保護者にも今以上周知できよう対策をしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	職員での避難訓練はしたが児童には行っていない	来年度から定期的に児童にも行き保護者にも周知していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	職員間で研修を行っている	今後も継続して行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	現在該当する児童はいない	今後そのような児童が利用する場合は子どもや保護者に十分に説明して了解を取り計画に記載するようにする
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	保護者よりの情報が中心	必要に応じて重度のアレルギーの児童には主治医からの情報提供をもらうようにする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	ヒヤリハットを共有できるようにしている	職員が見やすいところに置きいつでも観覧しやすいようにする